企業・団体名（　株式会社相川プレス工業　）

SDGs達成に向けた取組チェックリスト

・期待レベルが「基本」の項目（黄色マーク項目）は、必須記載項目です。
・期待レベルが「応用」の項目は、該当がある場合に記載してください。

様式第3号

【基本的な事項】

	カテゴリ	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項（例）】	期待レベル	・環境 ・社会 ・経済	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、人種、出身などによる差別がないことを確認している	基本	社会	・差別禁止に係る労働基準法第3条(均等待遇)の規定をはじめ、各種法令や社会規範を遵守することを行動指針にて策定					○			○		○						○	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制が整備されている	基本	社会	・セクハラ・パワハラ等、他の従業員に不利益を与え、職場環境を乱す行為を禁止する旨を就業規則に明記 ・相談窓口の設置					○			○								○	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働が行われていない	基本	社会	・安全衛生委員会を設置し、時間外労働時間の管理を行っている ・生産計画に基づき、計画的な残業や夜間勤務を行っている								○									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者の差別、人権侵害がないことを確認している	基本	社会	・従業員の個性を重視し、グローバルにお客様のニーズに応えることを経営ビジョン及び行動指針にて策定				○				○		○							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境が整備されている	基本	社会	・安全衛生委員による安全パトロールを毎月実施			○					○									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように施策を実施している	基本	社会	・労働安全衛生法に基づくストレスチェックを実施 ・社内にメンタルヘルスに関する相談窓口を設置 ・従業員に対する定期的な面談を実施			○														
7		【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）を活かし、十分に活躍できる環境が整備されている	基本	社会	・従業員の個性を重視することを行動指針にて策定 ・定年退職後の再雇用制度の対象となる者の基準に関する労使協定を締結し、職務に関する知識、技能を有する従業員を積極的に再雇用の対象としている					○			○		○							
8		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等の組織の活性化に取り組んでいる	応用	社会	・「健康宣言」を行い、協会けんぽ山梨支部と協働して従業員の健康づくりに取り組むことを宣言 ・「やまなし健康経営優良企業」に認定			○					○									
9		【人材育成】 ・労働者に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している	応用	社会、経済	・職務に関する外部研修・セミナーへの参加機会を提供し、従業員のスキルアップを積極的に推進 ・資格取得に係る費用の補助				○				○	○								
10		【雇用形態にかかわらない公正な待遇の確保】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿った対応を行っている	応用	社会、経済									○		○							

11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、また削減に努めている	基本	環境	・「品質・環境方針」を策定し、産業廃棄物の適正処理、地域美化活動及び省資源化・省エネルギー化の推進に努めることを基本方針としている										○	○		○			
12		【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	基本	環境	・事業所建屋の屋根及び敷地内に太陽光発電設備を設け、エネルギーの自家発電・使用及び、電力会社に売電を行っている						○						○				
13		【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、削減を進めている	基本	環境	・燃焼時に温室効果ガスを排出するガソリン・灯油等の燃料使用量を把握し、ガソリン車からハイブリッド車に変更するなど、温室効果ガス削減を進めている						○					○	○				
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の削減及び適切な使用に努めている	基本	環境	・機械設備導入時、当該機械設備が有害物質を排出するものでないか確認			○		○					○	○					
15		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	環境	・「地球環境の保全が人類共通の最重要課題の一つであることを認識し、従業員一丸となって地球環境保全に積極的に取り組むこと」を行動指針として策定					○									○		
16		【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めている	応用	環境						○											
17		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001または同等の環境マネジメント規格を取得している	応用	環境	・ISO14001の取得			○		○	○					○	○	○	○		
18		【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している	応用	環境	・自社ホームページにて山梨県北杜市と脱炭素社会の実現に向けた連携協定を締結している旨を公開											○					
19		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用を進めている	応用	環境	・太陽光発電設備を自社建屋に設置 ・法人・個人が所有する建物の屋根をお借りして太陽光発電設備を設置する「屋根借り発電所」事業を行っている						○						○				
20		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている	応用	環境												○	○	○	○		
21		【３Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている	応用	環境	・プラスチック材料の再利用、再資源化 ・スクラップや産業廃棄物の適切な廃棄等処理					○					○	○	○	○	○		
22	公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	・従業員個人に対する面談や管理職教育を行い、汚職・贈収賄が発生しないような職場環境・仕組み作りに努めている															○	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	・適正な方法により利益を創出することを行動指針にて策定 ・不正競争防止法、独占禁止法並び下請法に抵触する不正な競争行為に加担することのないよう、顧客との契約締結時に顧問弁護士が確認															○	
24		【知的財産保護】 ・知的財産を保護するよう、適切な取り組みを進めている	基本	社会	・特許権取得・管理に関して、顧問弁理士と協力							○	○								
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	社会	・情報セキュリティ基本方針や各種作業手順書を定め、情報管理ルールの周知徹底を図っている															○	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	応用	社会	・紛争鉱物(3TG)を取り扱っていないことを毎年1回確認し、顧客に対して定期的に報告															○	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等に対し、人権侵害（低賃金労働、児童労働、劣悪な労働環境等）の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）のための取組を要請している	応用	社会	・紛争鉱物不使用に関する確認と共に、児童労働などの人権侵害行為がサプライチェーン内で行われていないか管理し、健全な社会作りに努めている					○			○		○		○	○	○	○	○	○
28	製品・サービ	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	経済	・各製品が定められた仕様通りのものであるか、検査体制を整備 ・検査不合格時において、取引先と協力して都度必要な対応を行い、欠陥に起因して事故が発生することがないように努めている			○								○					
29		【品質保証】 ・顧客に品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを確立している	基本	経済	・ISO9001の取得								○								

30	ス	【環境配慮製品】 ・ライフサイクルで環境に配慮した製品の開発・設計を進めている	応用	経済、環境							○						○	○	○	○			
31		【社会課題解決製品・サービス】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開を進めている	応用	社会、経済		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
32	社会貢献・地域貢献	【地域への影響への配慮】 ・自社事業が地域に及ぼす影響に配慮し、適切に取り組んでいる	基本	環境、経済	・ISO14001に基づき、工場から発生する騒音が周辺住民の平穏な生活を乱すことがない程度に抑えられているかを管理				○					○		○	○		○	○		○
33		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティア等を含む、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	応用	社会	・難民支援団体に対する寄付				○							○			○	○		○
34		【地域資源の積極的利用】 ・地域資源の積極的利用（地産地消、地産外商）を行っている	応用	環境、社会、経済									○	○		○	○	○				
35	組織体制	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に十分浸透している	基本	社会	・ISO9001及びISO14001に基づき、品質や環境保全に係る各種法令を遵守するための教育・研修 ・特に環境法規制に関しては、「品質・環境目標計画」を策定し、別途目標設定と達成状況の管理を行っている																○	
36		【内部管理体制】 ・経営理念（及びSDGsとの関係）・経営目標の社内への共有が行われている	基本	環境、社会、経済	・経営理念を明文化し、自社ホームページ及び社内における掲示をもって周知								○	○								○
37		【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている	応用	社会																	○	
38		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に関連する事項に対応する担当、専門部署など体制が整備されている	応用	環境、社会	・ISO9001及びISO14001に沿った生産環境であるかを検証し、必要に応じて改善指示を行う「ISO事務局」を社内に設置																○	
39		【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスが整備されている	応用	社会、経済	・安全衛生委員会を社内に設置し、労働環境全般におけるリスクを特定・評価するプロセスが整備されている																○	
40		【企業の社会的責任】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対し、責任を持って対応するCSR（Corporate Social Responsibility）の取組を進めている	応用	環境、社会	・「相川グループCSRガイドライン」を策定し、定められた行動規範を企業責任方針として社内ネットワークで開示し、教育を行っている																○	
41		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、適切に対応している	応用	社会	・適宜ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、円滑なコミュニケーションを図っている																○	○
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生に伴う事業中断を想定した戦略を立案している	応用	環境、社会、経済	・事業継続計画(BCP)を策定									○		○		○			○	
43		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	応用	社会、経済	・適切な事業承継に向け、専門家の力を借りながら、対策の検討・実施をしている								○	○								○

【記載留意事項】

・「期待レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）

・「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合には、「具体的な取組」欄に、【非該当】と記載し、あわせて、その理由を記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック項目に関する具体的な取組を記載してください。　また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

・山梨県として力を入れている項目は、「山梨県総合計画（２０２１年改定版）」に掲載していますので、関連する「具体的な取組」がある場合は、記載してください。また、山梨県が取り組むＳＤＧｓに関する内容（水素・燃料電池、４パーミル・イニシアチブ、アニマルウェルフェアなど）を活用している場合も併せて記載してください。（次項の【その他独自に行っている取組】も同様。）

【その他独自に行っている取組】

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17